

2019年度 第21回 深川市青少年力十々交流訪問団報告書



Evolution～進化～

2019年7月29日（月）～8月13日（火）



深川国際交流協会



目次 *Contents*

訪問団とホストファミリー	<i>Fukagawa Group Members & Host Families</i>	<i>P 1 ~ 2</i>
研修日程	<i>Fukagawa Sister City Summer Program</i>	<i>P 3 ~ 4</i>
研修日記	<i>Daily Reports</i>	<i>P 5 ~ 11</i>
全体を通しての感想	<i>Participants Reports</i>	<i>P12 ~ 16</i>
引率者からの感想	<i>Chaperons Reports</i>	<i>P17 ~ 21</i>
思い出の写真	<i>Sharing Our Memories</i>	<i>P23 ~24</i>
訪問団団旗	<i>Team Flag</i>	<i>P25</i>

Fukagawa Group Member & Host Families

Sorano Minoshima 簗島 空乃

深川西高校 3 年 リーダー

Richardson Family

Tina(mother)

Randy(father)

Victoria(daughter)

Reggie(son)

3cats



Haruka Sekiguchi 関口 遥香

深川西高校 3 年 サブリーダー

Legare Family

Kelly(mother)

Marlon(father)

Rondney(son)

Cassy(daughter)

1dogs



Mei Fujita 藤田 芽衣

深川西高校 2 年 団旗担当

Tjepkema Family

Korinne(mother)

Mercy(daughter)

Koby(son)



Nanako Yamaguchi 山口 菜々子

深川西高校 2 年 パフォーマンス担当

Wiche Family

Jennifer(mother)

Raymond(father)

Serenity(daughter)

Destiny(daughter)



Shion Kutsuwada 轡田 慈音

一巳中学校 2 年 パフォーマンス担当

Kahlon Family

Sonyia(mother)

Rob(father)

Kylee(daughter)

Kassidy(daughter)

1dog



Kiyotaka Kitamoto 北本 清貴

団長・引率（深川国際交流協会 会長）

Manuel Family

Melidy(mother)

Thomas(son)



Fukagawa Sister City Summer Tour 2019

Training Schedule Monday, July 29 ~ Tuesday, August 13, 2019

月日(曜日)	時間	研修・活動内容
7月29日(月)	10:00	JR 深川駅集合
	10:36	〃 出発 特急ライラック9号 乗車(旭川着 バス乗換)
	12:00	旭川空港着 昼食
	13:25 - 15:10	旭川空港-羽田空港(NH4784)
	21:50	羽田空港発(NH116) 国際日付変更線通過 所要時間約9時間 (時差 17 時間)
	14:45	バンクーバー空港着
	17:00	ホストファミリーとHowe で対面、各ホームステイ先へ出発
7月30日(火)	8:30 - 12:00	英語の授業(at Howe)
	12:00 - 13:00	ウェルカムランチ
	13:00 - 15:00	英語の授業(at Howe) アボツフォードの町の探索
	15:00	Howe から各ホームステイ先へ
7月31日(水)	8:30 - 10:00	英語の授業(at Howe)
	10:00	バスでホワイトロックへ出発
	10:45 - 14:10	ホワイトロック(お弁当持参)
	15:00	Howe から各ホームステイ先へ
8月1日(木)	5:45	Howe 集合
	6:00	バス出発
	7:30	ツワッセン フェリーターミナル到着、フェリー乗船
	8:00	フェリー出発
	9:45	シュワルツベイ フェリーターミナル到着、バス乗車
	10:45	「ロイヤル BC 博物館」見学 ヴィクトリアの町(観光、ショッピング)、昼食
	16:30	バスでヴィクトリアを出発
	17:30	シュワルツベイ フェリーターミナル到着、フェリー乗船
	18:00	フェリー出発
	19:45	ツワッセン フェリーターミナル到着、バス乗車
	20:50	アボツフォード市到着 Howe から各ホームステイ先へ
8月2日(木)	8:30 - 11:30	英語の授業(at Howe)
	12:00 - 13:00	アボツフォード市役所訪問(昼食)
	13:30 - 14:50	トランポリンパーク
	15:00	トランポリンパークから各ホームステイ先へ



Location: Boardroom at Howe Middle School Group Leader: Mrs. S. Van Hove

月日(曜日)	時間	研修・活動内容
8月3日(土)・4日(日)		ホストファミリーと週末を楽しんで
8月5日(月)	Civic Holiday 市民の日	英語の授業はお休み
8月6日(火)	8:30 — 12:00 12:00 — 13:00 13:00 — 14:45 15:00	英語の授業(at Howe) 昼食 英語の授業(at Howe) Howe から各ホームステイ先へ
8月7日(金)	8:15 8:30 9:45 — 13:00 13:00 13:30 — 14:30 16:00	Howe 集合 バスでカナダプレイスへ出発 カナダプレイス、ロブソンストリート散策 (昼食持参 or 昼食代持参) バスでスタンリーパークへ出発 スタンリーパーク散策 バスでアボツフォード市到着 Howe から各ホームステイ先へ
8月8日(木)	8:30 — 9:20 9:20 10:00 — 15:00 16:00	英語の授業(at SBO) バスでカルタス レイク ウォーターパークへ出発 レイク ウォーターパーク Howe から各ホームステイ先へ
8月9日(金)	8:30 — 11:00 11:00 — 12:00 12:30 — 14:30 16:00 — 17:00	英語の授業(at Howe) 昼食 ボウリング 送別会
8月10日(土)・11日(日)		ホストファミリーと週末を楽しんで
8月12日(月)	11:45 12:00 14:00 16:25	Howe 集合 バンクーバー空港へ出発 " 着 " 発(NH115)
8月13日(火)	18:30 20:50 22:25 1:00	羽田空港着 羽田空港発(NH081) 新千歳空港着 バス迎え 深川市役所到着



Participants Report

リーダー 簗島 空乃(深川西高校3年)

私がカナダでの2週間で学び感じたことは、英語は学校で教わるものが全てではないこと、日本のように敬語がなくとも、相手によって単語や文法を使い分けることがあるということです。

外は湿度がなくカラッと晴れていることが多かったり、外にゴミ箱がたくさん設置されていたり、電線が地中に張られていたりしたことで過ごしやすく、景色がなにより綺麗に見えました。また、モザイクな国ということで白人から黒人まで、お互い知らないはずの人が相手でも、一緒に遊んでいたりと話をしていたり…日本では見ることのできない光景が当たり前のようにあって、差別のないあったかい国だなと感じることができました。私はそんな国、カナダが大好き

になりました！

初めは英語力がないことに不安をもっていました、頑張って伝えようと思えば理解しようとしてくれたし、理解したいと思えば伝えようとしてくれたし、そのおかげで言葉の壁なんて感じることなく2週間を終えることができました。だから、私のように英語力がなくても頑張りたいというきもちがあるなら挑戦してみしてほしいです。たった2週間かもしれないけど、絶対に自分の成長に繋がるはず。応援しています！私はもう一度、次は自分の力でカナダ・アボツフォードに訪れたいと思っています。



サブリーダー 関口 遥香(深川西高校3年)

カナダでの2週間、カナダでしか体験することの出来ない楽しさや勉強をすることができ幸せでした。

私は積極的に話をする 것과文化交流をすることを目標にしていました。会話は自分のためにゆっくり話してくれているときは理解することができても家族や友達同士で話しているときはほとんど理解することができず、とても悔しかったです。これから今まで以上に英語の勉強を頑張るモチベーションが上がりました。

文化交流では、お土産として持って行った中でもお菓子や浴衣、甚平は喜んでもらえたと、抹茶を点てたらキャシーやホストファザーはやっぱ苦いと言っていたけど楽しんでくれたみたいで良かったです。

そして休日は、ホストファミリーでアグリフェアや、ナイトマーケットなど色々な場所に連れて行ってもらいカナダについても知ることができ楽しかったです。平日は研修でバンクーバーやビクトリアへ行ったり、サンドラ先生の子どものエラやピーチに新しい遊びを教えてもらったり。家に帰ってもキャシーと隣の家の子と夜遅くまでトランポリンの上でミニ野球をしたりしました。

また、カナダで特に印象に残ったことが、カナダの人のフレンドリーさです。スーパーなどで、ホストマザーが同じ商品を見ている人と、その商品について話していたり、店員さんにも良い1日を！と声を掛けてくれたり。電車の券売機で困っていたらサラっと手伝う？と言ってくれたり。私もそういうところを見習って困っていそうな人に声をかけられるようにしようと思いました。

一緒にカナダに行ったみんなありがとう！またいつかみんなでいけたらいいな。

そして引率して下さった北本さん、企画財政課の皆さんや関わって下さった方々ありがとうございました。



藤田 芽衣(深川西高校2年)

カナダはとにかくとても居心地が良い場所で、人の温かさを感じました。ホストファミリーとも、とても仲良くなれて毎日充実した日々を過ごすことができました。

色んなところに私を連れて行ってくれて日本ではできない体験をたくさんさせてくれたマザーには感謝してもしきれません。メルシー(娘)、コビー(息子)も同様に、とても優しくしてくれて暇そうにしていると遊びに誘ってくれたり、話しかけてくれたりしてくれました。私のホストファミリーは、「カナダ」が大好きで、「カナダ」をたくさん教えてくれました。口頭で教えてくれただけではなく、日本では売られていない食べ物や飲み物、地元のイベント、有名なカナダ料理・プーティンなど…色々な体験をさせてくれました。知れば知るほどカナダが好きになっていて、日本に帰りたくありませんでした(笑)

2週間は本当にあっという間で、楽しい時間はすぐに過ぎていきました。2日目までは積極性に欠けていた私ですが、1日が短く感じるようになってからは、できるだけ積極的に話しかけるようになりました。2週間しかいないのに黙ってばかりでは、「進化」できないからです。カナダまで来て消極的でいると絶対後悔すると思って頑張りました。あの時、頑張って本当に良かったとおもいます。今では忘れられない大切な思い出です。

一方、後悔したこともありました。それは語彙力が足りなかったことです。文法はわかっているけど形容詞のレパートリーが少なく、自分の心情を表すことがあまりできませんでした。

またいつか絶対にカナダに行って、今回出来なかったこと、後悔したことを克服したいです。



山口 菜々子(深川西高校2年)

私は今回初めて海外、初めてカナダに行きました。初めはカナダってどんなところなのか全然わからなくて、自分1人でやっていけるのかな？と少し不安に考えていたけれど、実際カナダに行って本当に周りの人たちが温かくて、優しくて、出会った人、全て、本当に素敵な方々でした。私が英語を聞き取れなくても違う言い方をしてくれたり、わかるまで何回も答えてくれたり、お金の出し方に戸惑っていたら教えてくれたり、気さくに話しかけてくれたり、公園で出会った人とかでも日本について聞いてくれたり、ホストファミリーやサンドラ先生たちや、周りの人たちが本当に温かく、素敵だなと何度も思いました。私もそんな方たちがたくさんいるカナダにとっても惹かれました。



それから私はカナダはとても美しい！というのを感じました。周りの建物はとってもオシャレで、空はいつも綺麗な青空、湖や海は綺麗な色でした。陽の光を浴びて輝くのがものすごく美しいというのを、この目で見て思いました。私はこの景色をもっと多くの人に見てもらいたい！短期間だったけど素敵なカナダをもっと多くの人に知ってもらいたいと思っています！

そしてカナダに行ってやっぱ英語難しいな！って思いました。日本との感覚の違いとか、日常の英会話とか、こういうときにどんな英語を使うのかなとか、わからない単語がいっぱいありました。カナダでは私は簡単な返事や答えを返すことばかりで、自分から話題を振ったりなどはたくさんできませんでした。なので今後の課題は、まずいろんな言葉を知り、たくさんの英単語や、熟語を覚えること、これを英語にしたらどういう感じかな？って常に頭の中で考えてみることです！そして知識が増えたときに、また



カナダに行き、今回よりも英語を話せるようになりたいです！

最後に、青少年カナダ交流訪問団にかかわった全てのかたがたと私の家族に本当に感謝します。これは私の一生の思い出になりました。本当にありがとうございました。



轡田 慈音(一已中学校2年)

今回、初めて応募してほんとに受かったから実感が湧きませんでした。カナダについて、ホストファミリーと会った時は、すごくドキドキして上手く話せませんでした。でも、ホストファザーは聞き取りやすいように話してくれたし、ホストファミリーの子どもたちが自分から話しかけてきてくれて本当に嬉しかったです。学校も日本と違う造りで、サンドラ先生とサイコロを使ったゲームで英文を作る練習をしました。ピーチやエラとも仲良くなれて嬉しかったです。家でホストマザーは美味しい料理を作ってくれました。インド系の家だったのでカレーやナンを作ってくれた日もありました。



ヴィクトリアでキースやメアリーと会えたのも嬉しかったです。お土産もたくさんもらって、写真もたくさん撮りました。13年前にもらった絵本を見せるとすごく喜んでくれました。今回カナダに行くことができて本当によかったです。



Chaperon Reports

カナダでの交流2019

団長・引率 北本 清貴

今回の青少年カナダ交流訪問団事業を終え、これまでの経緯と体験を通し、思ったことを出来るだけ客観的に述べ報告としたいと思います。

結論としては、今回の訪問団メンバーは高校生が中心の年長グループでしたが、それぞれに才能があり、事前研修を含め現地での交流に於いてもその才能を発揮し、全体的に有意義な交流が出来たと思います。

○国内外の背景

日本では昨年9月に台風と北海道胆振東部地震により、土砂崩れ、液状化現象、道内全域での大規模停電があり、死傷者を多く出す災害になり、現在でも一部ではその復興が続いています。年号も平成から令和になり、消費税も10月から10%に上がり、来年の夏には東京オリンピックが開催されます。

一方、カナダBC州のホワイトロックでは昨年12月のハリケーンにより、象徴的な長い橋が一部倒壊し、多額の税金が投入され復旧作業が現在も続けられています。また、昨年の米中貿易摩擦の影響で、カナダ、中国間の関係も悪化しており、カナダに毎年多く来ていた中国人留学生等も激減する事態となっています。また、大麻の販売が合法となった事で、未成年が使用し、大きな問題になっています。

○事前研修

その様な状況の中、高校生4人と中学生1人のメンバーが選出され、7月29日～8月13日までの16日間、カナダBC州のアボッツフォード市でホームステイでの交流事業を実施する事になりました。8回の事前研修では団員の出席率が100%で私語もほとんどなく、役割分担、団旗作成、パフォーマンスなどスムーズに決まった様に思います。テーマは「進化(EVOLUTION)」でパフォーマンスはよさこいソーラン「よっちょれ」を踊る事になり、団旗は大漁旗をイメージして表裏を作成し、パフォーマンスで旗振りに活用しました。さらに例年引率者が用意している現地でのお土産も今回は団員にお願いをして用意してもらいました。



○現地での活動状況

7月29日カナダに向け出発。いきなり団旗を忘れ、スーツケースの重量オーバーのトラブル発生！深川駅で荷物整理をして、旭川空港で団旗を受け取る。バンクーバー空港では預けた荷物がいくつか遅れ、1時間ほど予定より遅くなりましたが、無事にアボッツフォード市に到着しました。

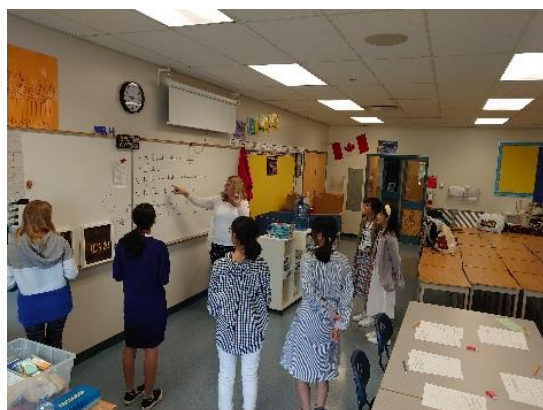


今回のカナダでの活動はこれまでのSBO(教育委員会)がメンテナンス中だったため、COLLEEN & GORDIE HOWE MIDDLE SCHOOL(ホー中学校)にて行われました。例年団員の何人かは最初の3日間で時差ぼけとホームシックになるケースが多いのですが、予想に反しみんな元気で「日本に帰りたくない」宣言。そんなに日本での生活が窮屈だったのかなあ？とか、今まで苦楽をを共にしてきた家族がいるのに、薄情な奴らだなあ？とか、まあでも順応性が高い事にしようか？などと思いつつも、引率業務に専念しました。

今回は有り難いことに英語教師サンドラ(Mrs.V)の娘さん達(エラ14歳、アナリス11歳)のサポートがあり、授業等に積極的に参加し、団員と活動を共にしてくれました。しかし、始めの内は恥ずかしいのか英会話に自信がないのか団員で固まり団員交流が多く、目の前に絶好の英会話の練習相手、交流相手がいるのに出発前のみんなの目標は何だったのかなあ?と疑問に思いましたが、サンドラの家で一緒に遊ぶ事がきっかけで、徐々に交流らしくなり、後半ではUNOや人狼ゲームと一緒に遊んだり、サンドラにも色々な質問を投げかけるなど仲良くなった様に思います。



授業での英会話は英検2級を持っているメンバーがいたためか、初めから通訳なしでも理解できており、今回の引率はカメラマンと日程調整と荷物番に専念でき楽だなあと思いました。…が、その反面、団旗用のサインペンや



現地で渡すお土産や日焼け対策等の私物などの些細な忘れ物が多く、集合時間ギリギリまで遊びやショッピングに夢中になったり、人の話を聞かなかったり、単独行動したり、携帯電話を放置したりと危機管理能力に欠ける行動で、内心ハラハラしてました。みんな初めての海外生活だったため、仕方がないのでしょうが、過去には置き引きにあったりしているので、結果的に大ごとにならなくて良かったと思います。

○滞在日程

全体的にカナダ滞在中の天気は最高気温28度前後の快晴で、日差しは強く湿度がなくカラッとして過ごしやすかったですが、最後の週末二日ほど小雨でした。

観光地のホワイトロックでは冒頭に述べた様に、ハリケーン被害で長い橋は工事中で通行禁止だったため、渡ることが出来ませんでした。ホワイトロックは健在でした。登頂は他の観光客の力を借りて、空乃と遙香が成功。他のメンバーは浜辺を散策しました。



ビクトリアでは州議事堂、博物館、水上タクシー、トーテムポールなど町並みが美しく、湾内ではストリートパフォーマンスや個人のクラフトショップなどがあり、賑やかな町並みを散



策しました。

昼食は例年日本食レストラン古都で、星野桂子さん(深川市出身)、キース(過去深川でALT)、マリー(キースのお母さん)と一緒に食事しました。キースは過去に轡田さんの家にお世話になった事があり、今回の会合はメンバーの轡田慈音の目的の一つでもあり、実現することが出来ました。桂子さんの話によるとビクトリアでは観光客は多いのですが、お客さんの買い渋りで思ったより売上げが伸び

てない状態だそうです。

最初の週末3連休ではアボッツフォード市でアグリフェアやファーマーズマーケットなどが開催されており、団員はそれぞれのホストファミリーとアグリフェア、ショッピング、プール、パーティなどをして過ごした様です。

バンクーバー観光の日では手違いでスクールバスが1時間遅れるトラブル発生。メンバーからはブーイングの嵐でしたが、待っている間はサンドラの娘さん達とUNOで交流出来て良かったと思います。今年から Fly over というアトラクションに乗りました。カナダの大自然や町並みを、空を飛んで見ている様な視点で、疑似体験出来るパノラマ3D映像の乗り物で、風、水飛沫、森林の香りなどの演出効果もあり、カナダの雄大さを迫力のある映像で表現されていました。その後はバンクーバー発祥の地と呼ばれるガスタウンと中心街のロブソンストリートでショッピングをし、スタンレーパークでトーテムポールと海越しに見えるバンクーバー市街地を背景に写真撮影をしました。



今回のカナダ滞在中、アボッツフォード市長表敬訪問はヘンリー・ブラウン市長が夏休み休暇のため、会う事は出来ませんでしたが、市長代理としてラジ・シャルマ氏(市のマネージャー)に会うことができ、山下市長の手紙とお土産を渡す様にお願いをしました。



学校最終日のさよならセレモニーではお世話になったホストファミリーを集めた中で、これまでのカナダ滞在を振り返り、パフォーマンスを披露。軽食とドリンクを飲食しながら、和やかな時間を過ごしました。

帰国前の最後の週末ではエアーショー、ナイトマーケット、ショッピング、映画館、日本食をご馳走するなどそれぞれが充実した日を過ごした様です。



○団員の評価

今回の団員評価は事前研修を含め私の見た範囲で思った事で、サンドラの意見も取り入れた中での評価ですが、本当は各ホストファミリーにも聞かつもりでしたが、機会がなく断念しています。

今回のリーダー**簗島空乃**はとにかくエネルギッシュで、団員も含め面倒見が良く、リーダーとして適任だったと思います。英語は苦手でポケットークを持参してましたが一度も使わず、出川イングリッシュで本能の赴くまま会話。わからない時はジェスチャーをしたり、他のメンバーに聞いたりなど辞書に頼らないで体で覚えていきました。活動的で誰に対してもフレンドリーに対応していて、特にイケメンや子供に積極的でした。印象深いエピソードではトランポリンパークでトランポリンが超絶上手い男の子が見せた秘技！柱抱きつき？に感化され、真似して何回も挑戦し奥義を修得。一緒に写真を撮るといった具合です。また、お金の使い方に関しては大胆で、自身で持ってきたお金と協会を用意したお金を1セント残らず綺麗に使い切るという才能を発揮。色々な意味で将来が楽しみな逸材です。



サブリーダー**関口遙香**は英検2級を持っており、英会話に於いてかなり理解していて、授業では度々通訳をしていました。頭が良く知識は豊富で一見、要領が良い感じには見えたが、用意したお土産を2度忘れたり、預かっていた空乃の携帯を放置するなど、少し変わった愛嬌？があります。いつも HAPPY で、今回の応募も友達の空乃と一緒に受けていた事もあり、現地でも一緒にイケメン、かわいい子供を追いかけるのに奮闘していました。カルタス湖のウォーターライダーでは今日のイケメンを見つけ、自然なアプローチ作戦に考えを巡らせていましたが、周りに知り合いがいる訳もないので、

思い切って声を掛ければいいだけなのに…と思いながら、生暖かく見守っていました。それでもホストファミリーからはうちの娘さんになって欲しいと言わせるほど馴染んでいて、遙香にとってもカナダでいい家族に出会えたかな？と思います。

藤田芽依は常に落ち着いた感じで、冷静に物事を観察して、微笑みながら会話を楽しんでいる印象でした。運動は苦手でしたが、絵が上手く書道の有段者で、事前研修の団旗の作成では下絵を描き、「進化」の文字も書道の筆で書きましたし、よさこいでは振り付けをいち早く覚え、衣装のデザインから発注も担当。カナダでのさよならセレモニーでお世話になったホストファミリーへのプレゼントで作成した、折り紙のお花を入れる箱を折り紙で作るなど才能豊かで、サンドラも驚いていました。交流の面でも携帯アプリのワードウルフ(人狼ゲーム)を活用して、交流を深めていました。後にサンドラの娘さん達に感想を聞くと、初めてのゲームでしたが、かなり楽しかった様です。



山口菜々子は目新しい物を常に追い求めていて、何かをする時にはちゃんと受け答えが出来ている感じで、メンバーからはももえ(山口だから?)と呼ばれたり、時には(ちびまる子ちゃんの)たまちゃんと呼ばれ、場の雰囲気を和ませていました。同い年の芽依と仲良く、常に一緒に行動をしていて、お互いに協力しながら交流やショッピングを楽しんでいたし、体育館に携帯を忘れた時、空乃がすでに確保していて、素知らぬふりをして菜々子が体育館に探しに行くといったドッキリを慣行。軽く人間不信に陥りましたが、自業自得ですので、菜々子にとっていい教訓になったと思います。ホストファミリーの幼い女の子に好かれていて、週末の休日も充実していた様に思います。英検2級を持っているので、英会話には困らなかったのかな?とは思いますが、話す内容をまとめるのに苦労していた感じで、自分をどう表現出来るかが今後の課題となるかな?と思いました。



轡田慈音は将来アニメーターになるといった明確な目標があり、スケッチブックを持ち、時間があれば絵を描いていました。事前研修では周りが高校生の中で唯一の中学生という事もあり、発言もかなり控えめでおとなしい感じで、カナダでは英会話での交流というよりアニメでの文化交流が主でした。特にサンドラの次女アナリスと共通の趣味だった事もあり、アニメを描いて積極的に交流を深めた様で、サンドラも感謝していました。英会話は携帯の翻訳アプリを上手く活用し会話をしてましたし、メンバーのサポートもありましたが、授業でも良く付いていったなと思います。発言も事前研修の時よりは多くなり、調子こいてきた感じで、特にアイスクリームに対しては異常な執念を見せました。行く先々でアイスクリームを食べ、帰国直前までアイスクリームを求め探しまくってました。目的の一つのキース親子にビクトリアで会う事も出来たし、慈音にとって意味のある滞在になったと思います。

○全体を通じて

全体を通しての感想ですが、冒頭でも述べた様に、団員一人一人がコミュニケーション能力に優れ、体調不良や大きな事故もなく、終始笑顔で交流してこられたのは大変良かった点だったと思います。欲を言えば、もう少しカナダの生い立ちや現在の状況など踏み込んだ会話になれば良かったかなあと思いましたが、引率としてもう少し何かしらのサポートが出来たんじゃないかと反省しているところです。

今回は私なりに「日本の良いところを再確認する」といったテーマを掲げ活動してきました。カナダの文化、風習を体験して日本と比較し、今まで当たり前過ぎて気付いていなかった日本の良いところを見つけて欲しいと思い、事前研修から皆にお伝えしてきました。実際にどう思ったかは団員の判断にお任せしますが、みなさんが見つけた日本の良いところは海外に行った事がない人には気付かない部分で、それだけでも明確な知識、体験として将来役立つ材料になると思います。今回の訪問団のテーマにもある「進化」をこの派遣事業を通してどう捉え、今後どう生かしていけば良いのか考えて、それぞれの「進化」に繋げていってほしいと思います。



○最後に

今回の派遣事業では多くの方々にお世話になりました。深川国際交流協会の皆さん、市役所職員一同、各団員のご家族、中橋さん(よさこいを指導)、ケビン(深川 ALT)、カナダではサンドラ、エラ、アナリス、シェリー(アナリスの友達)、サンドラのお母さん(おいしいパンケーキを作ってくれた)、エリザベス、星野桂子さん、キース、キースのお母さん、ラジ・シャルマ氏、エアード(姉妹都市委員会)、ジャンセン夫妻(団員のケア)、各ホストファミリーの皆さんなど。団旗にも多くのメッセージを頂きましたし、皆さんの支援によって有意義な交流ができた事に深く感謝いたします。



Sharing Our Memories







2019 21th

Fukagawa Sister City Summer Program Report



Mon, 29 July ~ Tue, 13 August



FUKAGAWA International Friendship Society